

各日本語教育機関
設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 加藤 早苗

令和8年度文部科学省委託主任教員研修の開催について(ご案内)

当協会の運営につきましては、日頃より御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

当協会では、日本語教育機関における主任教員の資質・能力の向上を図るため、平成15年度から主任教員研修を実施し、多くの方から高い評価を受けております。本年度は、文部科学省の「令和8年度現職日本語教師研修プログラム開発・実施事業」としてこの研修を行い、新任主任教員からベテラン主任教員まで幅広いキャリアの方に対応した研修プログラムとなっています。

研修の核となる3日間の集合研修を東京会場・大阪会場の2会場にて対面で実施いたします。また、オンデマンドによる事前学習や集合研修後のフォローアップも充実させ、より密度の濃い研修プログラムとなっております。

さらに今年度は、認定日本語教育機関の認定申請において中核を担う主任教員の皆様に向けて、認定申請に直結するプログラムもご用意しております。特に、認定基準で求められる「教育課程の編成」と「他の教員の指導」に重きを置いた実践的な内容となっておりますので、ぜひこの機会をご活用ください。

受講希望者におかれましては、7月27日(月)までに、所定の応募方法にてご応募くださるようお願いいたします。今年度も多くの方からのご応募が予想されますので、申し込み期間中であってもお早めのお申し込みをいただけますようお願い申し上げます。

研修全体の日程表【別紙1】は、当協会ホームページに掲載しております。

記

令和8年度文部科学省委託主任教員研修	
《令和8年度 主任教員研修の特徴》	
▶「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」の成立により、ますます注目が集まる「日本語教育の参照枠」や「日本語教師の人材育成」について理解を深める事ができる	
▶ 現場の“今”を意識した研修プログラムにより、過去の研修受講者が再度受講しても満足できる研修である	
▶ グループワークでは経験別や所属学校の属性別のグループを構成することにより、多様な受講者の満足度を保証する	
《令和8年度 主任教員研修のねらい》	
◆ 「日本語教育の参照枠」に基づく学習成果の評価と手法を理解し、実践に活かす力を養う	
◆ 人材育成の目的や考え方を知り、自校が求める教員像に近づけるための研修計画を立てる力を養う	
◆ 今の悩みを共有できる仲間や、相談できる先輩とのネットワークを獲得する	
定員	108名 各会場定員：東京会場 66名／大阪会場 42名
参加資格	以下の(1)～(3)のいずれかの条件を満たす方 (1) 認定校・告示校の主任教員 (2) 認定校・告示校で主任教員就任予定者（※3年以上の本務等教員経験必須） (3) 留学分野での認定申請済、もしくは一度申請をし、再申請予定の機関の主任教員

<p>参加要件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の全日程に参加できる方 ※参加決定後の会場変更は不可 ・オンライン集合研修において、静かで研修に集中できる環境から参加できる方 ・インターネット環境が整っており、PCで研修に参加できる方 ※スマホやタブレットからの参加は不可 ・自校にて実際に課題改善を行い、その取り組みを発表し、研修レポートとして提出できる方
<p>研修の概要等</p>	
<p>研修内容</p>	<p>本研修は事前学習 7 単位時間、集合研修 26 単位時間、事後課題 4 単位時間で構成されています。</p> <p>事前学習は、オンデマンド学習やレポート提出などがあります。</p> <p>集合研修は、対面での研修の他、zoom によるオンライン研修を行います。</p> <p>事後課題は、研修の総括としてレポートを作成します。</p> <p><研修①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講式、オリエンテーション ・プレセッション ・セッション 1 最新の日本語教育事情を知ろう！ (出入国在留管理庁、日本語教育振興協会による講義とグループ討議) <p><研修②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッション 2 学校の課題、私の課題 ・セッション 3 主任教員に求められる資質・能力から考える 「わたしの主任教員 Can do」 <p><研修③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッション 4 認定日本語教育機関の主任教員に求められる研修デザインの能力 ・セッション 5 自己点検・評価と第三者評価 ・セッション 6 現場と経営をつなぐ交渉戦略 —はざままで働くマネジメント術 <p><研修④></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッション 7 『日本語教育の参照枠』にもとづいた評価の考え方と方法 ・セッション 8 より良い学校づくりのための私のアクションプラン <p><研修⑤></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッション 9 アクションプランの実践経過報告会 <p><研修⑥></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッション 10 アクションプランの成果発表会
<p>全会場共通 日程</p>	<p>■事前学習提出期限：8月24日(月)</p> <p>■集合研修</p> <p>研修①：【オンライン】 8月28日(金) 13:30～17:05</p> <p>研修②：【対面】 希望する研修会場（東京・大阪）によって日程が違います。</p> <p>研修③：【対面】 希望する研修会場（東京・大阪）によって日程が違います。</p> <p>研修④：【対面】 希望する研修会場（東京・大阪）によって日程が違います。</p> <p>研修⑤：【オンライン】 10月24日(土) 14:00～16:30 オンライン</p> <p>研修⑥：【オンライン】 11月28日(土) 14:00～17:00 オンライン</p> <p>■研修レポート提出期限：2026年12月20日(日)</p> <p>日程の詳細は【別紙1】をご参照ください。</p>

<p>東京会場 日程</p>	<p>※主催者が用意した宿泊所での宿泊を伴う研修</p> <p>■集合研修 研修②： 9月3日(木) 14:00～18:05 ※夕食後、任意参加の情報交換会あり (20:15～21:45) 研修③： 9月4日(金) 9:00～17:35 ※夕食を兼ねた交流会あり (18:00～20:00) 研修④： 9月5日(土) 9:00～16:10</p> <p>【会場・宿泊所】 国立オリンピック記念青少年総合センター https://nyc.niye.go.jp/ 東京都渋谷区代々木神園町3-1</p> <p>詳細は【別紙1】をご参照ください。</p>
<p>大阪会場 日程</p>	<p>※宿泊を伴わない研修 (宿泊が必要な参加者は各自で宿泊所の確保をお願いします。)</p> <p>■集合研修 研修②： 9月10日(木) 14:00～18:05 ※任意参加の情報交換会あり (19:05～20:35) 研修③： 9月11日(金) 9:00～17:45 ※任意参加の夕食を兼ねた交流会食事会あり (18:10～20:10) 別途実費徴収 研修④： 9月12日(土) 9:00～16:10</p> <p>【会場】 KITENA 新大阪 https://merinoria.co.jp/kitena/ 大阪市東淀川区東中島1-18-5</p> <p>詳細は【別紙1】をご参照ください。</p>
<p>研修実施者 (五十音順)</p>	<p>内田 さつき 委員長 (コミュニカ学院 校長) 青柳 恵 委員 (ヒューマンアカデミー日本語学校 東京校/教室 専任講師) 一条 初枝 委員 (前ヨシダ日本語学院 校長) 生方 哲男 委員 (カナン東京日本語学校 副校長) 北 琢磨 委員 (アリス日本語学校横浜校 教務主任) 久保田 文子 委員 (京進ランゲージアカデミー日本語教育課 課長) 國田 久子 委員 (にんじんランゲージスクール 主任教員) 栗本 久美 委員 (平成医療学園専門学校日本語学科 学科長) 澤井 美智子 委員 (大阪みなみ日本語学校 教務主任) 神 恵介 委員 (新世界語学院 校長) 惣万 奈美子 委員 (新宿日本語学校 副校長兼教務主任) 高田 薫 委員 (ヒューマンアカデミー日本語学校東京校 教務主任) 竹野 藍 委員 (東京三立学院 教務主任) 田中 綾美 委員 (万和国际教育学院 教務主任) 土屋 理恵 委員 (清風情報工科学院 副校長) 戸川 朝子 委員 (南大阪国際語学学校 校長) 野村 智恵 委員 (元ヨシダ日本語学院 教務主任) 三宅 ひとみ 委員 (大阪みなみ日本語学校 教務副主任) 山田 貴彦 委員 (ミッドリーム日本語学校 校長)</p>

研修参加費	<p>15,000 円(消費税込)</p> <p>※東京会場参加者については、別途宿泊費及び食費等(20,000 円程度)が発生します。 詳細な費用については、参加決定者に対して別途お知らせいたします。</p> <p>※大阪会場参加者については、交流会参加費が発生します。 詳細な費用については、参加決定者に対して別途お知らせいたします。</p>
研修レポート	<p>A4 判で 2 枚の研修レポートを Word で作成し、Word と PDF 化したものを所定の方式で 2026 年 12 月 20 日(日) 23:59 までに提出していただきます。</p>
修了要件	<p>以下の要件(1)(2)(3)の全てを満たすこと</p> <p>(1) 成果発表会(セッション 10)で最終的な研修成果を定められた規定に従い発表し、SABC 評価の内、B 以上の評価を得ること</p> <p>(2) 成果発表会後に研修レポートを定められた規定に従い提出し、SABC 評価の内、B 以上の評価を得ること</p> <p>(3) 全 37 単位時間中、30 単位時間以上を取得すること(1 単位時間は 45 分)</p>
単位認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・事前課題においては、課題の指示に従って学習が完了していること ・集合研修①～⑤においては、<u>各セッション 90%以上出席</u>していること <p>※移動しながらの研修受講、他の業務と並行しての研修受講や、カメラがオフの状態での参加は単位として認めない</p>
応募方法	<p><u>希望する研修会場によりお申し込みフォームが異なります。</u> 受講希望者は、参加を希望される会場の Google フォームよりご応募ください。</p> <p>《東京会場》 https://forms.gle/W9wSTJbNExU92DFz9</p> <p>《大阪会場》 https://forms.gle/Ch7czkwEu1b8gwEx6</p> <p>※Google フォームを受理後、3 営業日以内に日振協から返信します。返信が無い場合は、届いていない可能性がありますので、電話でお問い合わせください。 ※研修参加費等の支払方法・金額(振込みに限る)については、追って受講決定者にご連絡いたします。</p>
成果	<p>修了された方には修了証書を発行し、修了者名簿は文科省 HP に掲載されます。また、日本語教師として研修修了を履歴に明記することができます。なお、本人の希望で文科省 HP への掲載は不掲載にもできます。</p> <p>また、希望する方には文科省がオープンバッジを授与する予定です。</p>



担 当：野田・塩原
T E L：03-6380-6557
E メール：shuninken@gmail.com